超速硬コンクリート用パック ジェットパック 北海道版

ジェットパックとは

超速硬コンクリートの現場練りには，単位水量，骨材，現場計量の手間など様々な問題があります。これらの問題を一挙に解決するために使用材料のすべてを吟味・計量済のパックにしたものが「ジェットパック」です。

ジェットパックの特長

- ジェットパック用に厳選吟味された各材料は計量・包装されていますので，品質が安定します。
- 1セットあたりの練上り量は約25リットルです。
- 3時間で 24N/mm^2 以上の強度が得られます。(20℃室内試験)
- 長期にわたって安定した強度を示します。
- 浮き水（ブリーディング）がほとんどなく打設後，沈下がありません。
- 材齢初期の表面ひび割れ抑制のため高機能性特殊短繊維が混入されています。

ジェットパックの用途

マンホール等の嵩上げ・側溝工事
伸縮装置
上下水道の配管，配線工事
機械等の据付工事等の緊急工事

※荷姿は製造の都合等により予告なく変更する場合がありますので予めご了承ください。

被膜養生剤

スミセエスシー

プライマー

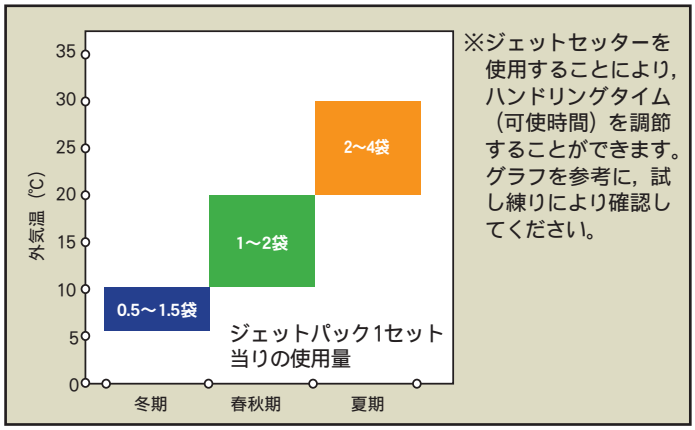
リフレトリート

ジェットパックの標準配合例

配 合 (kg)	パック-1		パック-2	パック-3			練上り量 (ℓ)
	セメント	細骨材	粗骨材	水	減水剤	遅延剤(添付)	
袋	30		26	3.9 (※参照)			約25

●気温やミキサーの性能によって，練り上がりコンクリートのスランプが変化しますのでパック-3の使用量で適宜調整してください。
●ジェットセッターは外気温に応じて，適量を予めパック-3に溶かしてご使用ください。
●ジェットセッターの添加によりパック3の色味が薄紺色から黄色へ変化します。また，ジェットセッターの添加量が多くなるほど黄色が濃くなりますが，物性に影響はございません。
※ジェットパックの推奨水量は3.9kgですが，スランプ変動に対応するため，パック-3は4.1kgの水量となっております。事前に試し練を行い，水量を決定してください。

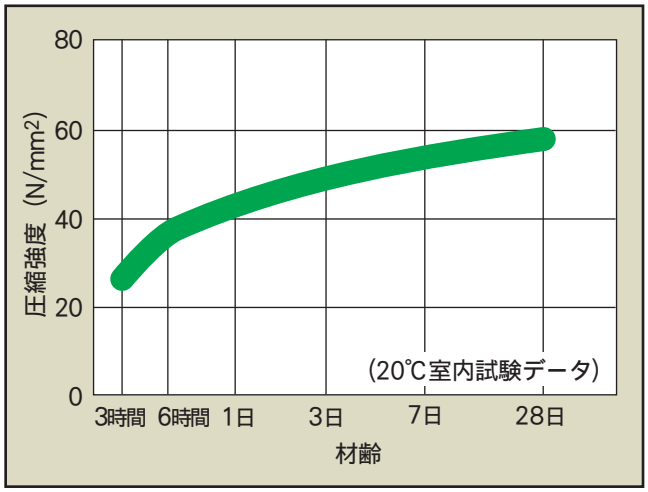
ジェットセッター（遅延剤）の外気温別の添加率



※ジェットセッターを使用することにより，ハンドリングタイム（可使時間）を調節することができます。グラフを参考に，試し練りにより確認してください。

注1) 他の遅延剤と混ぜないでください。
注2) 遅延剤の過剰添加は圧縮強度の低下を招きます。必ず外気温に応じて適量を添加してください。

ジェットパックの材齢と圧縮強度の関係



使用材料

ジェットパック
　パック１：ジェットセメント＋細骨材
　パック２：粗骨材
　パック３：水＋混和剤＋ジェットセッター

被膜養生剤：スミセエスシー
プライマー：リフレトリート

※スミセエスシーは2～3倍希釈でご使用ください。

準備

●コンクリート用強制練りミキサ
●計量容器，ハカリ，コンクリート受皿
●内部振動式バイブレーター
●スコップ，木ゴテ，金ゴテ
●養生剤・養生マット・養生シート等

※硬化が早いため道具を多めに用意してください。
※傾胴式ミキサは使用しないでください。

養生　環境条件の違いによる養生方法の組合せ例

養生方法＼環境条件	10℃以上	5℃～10℃	5℃以下
皮膜養生	皮膜養生	皮膜養生	皮膜養生
保温養生	↓	保温養生	保温養生
シート養生	シート養生	シート養生	シート養生
加温養生	↓	↓	加温養生
後養生	後養生	後養生	後養生
	供用下	供用下	供用下

保温養生：保温マット等による養生
シート養生：不透水性シートによる養生
加温養生：ジェットヒーター・電気毛布等による養生

●養生は原則，施工後3時間以上行ってください。
●養生中のモルタル・コンクリートには，散水等を行わないでください。
●加温養生を行う際はモルタル・コンクリートに直接熱源や風を当てるとひび割れの原因となりますので，必ずシート養生を行ってから実施してください。

打込み

●旧コンクリートの下地処理は十分に行ってください。打ち込んだコンクリートの水分が型枠・旧コンクリートなどに吸われることがないように打ち水，もしくはプライマー処理・ブラスト処理等を行ってください。
●バイブレーターで十分に締め固めてください。
●ジェットパックは硬化が速いので，作業が中断しないようにしてください。
●多層打ちを避けて，一層打ちにし，打ち継ぎ目を作らないようにしてください。
●硬化しかかったモルタル・コンクリートに，水を加え練り返して使用しないでください。

表面仕上げ

●施工可能時間は，ジェットセッター添加率により変わりますが，およそ20～30分ですので表面仕上げは早い時期に行ってください。表面仕上げ終了後，できるだけ早い時期に被膜養生剤（スミセエスシー）を噴霧器等で，均一に散布してください。
●表面仕上げを行う際に，モルタル・コンクリート表面に水・混和剤をかけないでください。

ジェットパックの使用方法

ジェットセッター（遅延剤）の投入
●外気温に応じてパック-3にジェットセッター(遅延剤)を投入し，ふたをして，パック-3をよく振って，よくかき混ぜ溶解してください。

パック-2，パック-1をパン型ミキサへ投入
●パン型ミキサにパック-2，パック-1の順に開封投入します。(投入順序は厳守してください。)

パック-3をパン型ミキサへ投入
●パック-2，パック-1の投入後，パン型ミキサを回転させ徐々にパック-3を投入してください。
注）急速にパック-3を投入すると、混練不良が発生する場合があります。

約3分間練り混ぜ実施
●約3分間練り混ぜます。
●練り混ぜ2分後ミキサを一旦止めてミキサの内部等についた材料を掻き落とし，その後1分程度練り混ぜます。

練り上がり
●ジェットパック1セットあたりの出来上がり量は約25リットルです。直ちに施工箇所に打ち込みます。

暑中対策

日平均気温が25℃以上になることが予想される場合、以下の対策を行ってください。

●材料は直射にあたらないように保管してください。
●パック3を冷却し練り上がり温度が35℃を超えないようにしてください。
●打設後の養生は直射，風等による乾燥がおこらないよう施工後すぐにシート養生等を行ってください。また，打設箇所の温度を急激に上昇させないようにしてください。

寒中対策

日平均気温が4℃以下になることが予想される場合、以下の対策を行ってください。

●氷雪のついている材料は，そのまま使用しないでください。
●打ち継ぎ目のコンクリートが凍結している場合は，適当な方法でこれを溶かし，打ち継いでください。
●材料を加温する場合は，パック3を加温し，練り上がり温度が5℃以上になるようにしてください。
●打設個所の温度を急激に低下させないようにしてください。

使用上の注意

●本製品は強いアルカリ性を呈し，目，鼻，皮膚等を刺激したり，粘膜に炎症を起こすことがあります。直接，皮膚に触れたり，目に入らないようにてください。
●作業時には，保護手袋，防塵マスク，防塵眼鏡等を必ず着用してください。
●目に入った場合は，きれいな水で十分に洗眼し，直ちに専門医の診察を受けてください。
●皮膚に付着した場合は，きれいな水で十分に洗い流してください。
●セメントの容器(袋)は完全防水仕様ではありませんので，保管は屋内で行ってください。屋外に仮置きする場合は，パレット等でかさ上げし防水シートで覆ってください。開封したセメントは，なるべく早く使用してください。
●他のセメントと混ぜないでください。

・詳しくは技術資料をご確認ください。
・物性値の詳細については，当社試験成績表等をご参照ください。
・使用および取扱いの前に，当製品の安全データシート(SDS)をお読みください。
・本カタログの記載内容については，予告無しに変更する場合がありますので，予め御了承願います。

住友大阪セメント株式会社　建材事業部

〒105-8641　東京都港区東新橋1-9-2（汐留住友ビル20F）
Tel. 03-6370-2721　Fax 03-6370-2759

大　阪	Tel.06-6342-7704	名古屋	Tel.052-566-3202
札幌支店	Tel.011-241-3901	東北支店	Tel.022-225-5251
北陸支店	Tel.076-223-1505	四国支店	Tel.087-851-6330
広島支店	Tel.082-577-7645	福岡支店	Tel.092-481-0186

本製品に関するお問い合わせ・ご用命は

E00000000_0000/Rev.20230228